

2024 年 10 月 18 日

当院で経カテーテル大動脈弁留置術を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などはいりません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。お申し出以降は、あなたの情報は本研究には利用せず、参加拒否以前に本研究のために収集した情報があれば削除します。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2011 年 12 月～2022 年 12 月の間に、大動脈弁狭窄症で入院し、カテーテル手術を受けた方

【研究課題名】経カテーテル大動脈弁留置術の予後に左室拡張機能障害が与える影響に関する検討

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心不全部 医長 神崎秀明

【研究の目的】左室拡張機能が経カテーテル大動脈弁留置術の効果に与える影響を調査するため

【利用する診療情報】

診断名、年齢、身長、体重、性別、既往歴、併存疾患、自覚症状の程度、手術リスク、手技記録、心電図、心エコー検査、CT 検査、カテーテル検査、採血（貧血、リンパ球数、血小板、アルブミン、腎機能、電解質、肝機能、ビリルビン、コリンエステラーゼ、尿酸、コレステロール、BNP、凝固検査）、内服薬、転帰（生存、再入院日、死亡日、入院・死亡理由）

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】研究許可日より2027 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心不全部 担当医師 神崎秀明

電話 06-6170-1070